



Audio Engineering Society

AES日本支部便り 2020年冬号

共同発行 AES日本支部 〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10 Tel: 050-5534-0993
AES日本学生支部 公式ホームページ <https://japan.aes-student.org/wordpress/>

支部長挨拶	2
2020年度 AES日本支部 運営委員体制.....	3
2020年度 事業計画	4
基礎音響セミナー2020のご報告	5
例会の活動について	6
日本学生支部 支部長挨拶	7
日本学生支部の活動について	8
編集後記.....	10

支部長挨拶

AES日本支部 支部長 中澤 哲矢（株式会社 ytv Nextry）

新年明けましておめでとうございます。昨年はAES日本支部の活動にご協力賜りまことにありがとうございました。昨年9月の支部長選挙にてご支援いただき、2年の任期で支部長に就任致しました中澤でございます。長い歴史のある「AES日本支部」の支部長を務めさせて頂くことは、大変光栄であると共に、この素晴らしい活動を未来に繋いで行かなければいけない重責に身が引き締まる思いであります。皆様のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



昨年はコロナ禍の中、AES日本支部の活動にも変化を求められる1年となりました。月1回のペースで開催しております支部例会も感染拡大防止の観点から2月より実施を見合わせておりましたが皆様のご協力により9月からオンラインにて再開する事が出来ました。毎年恒例となり11回目の開催となった「基礎音響セミナー」も初めてオンラインで実施致しました。オンライン化により、「気軽に参加し易い」、「地方からの参加も容易」とのお言葉も頂き、コロナの状況が解消された後もそのメリットを活かしてまいりたいと思います。また、4回目の開催となりました若手・学生のための「AESジャパンフォーラム」もオンライン、オンデマンドでの開催となりました。今回より学生支部主体のイベントとなり、若々しいアイデアでリニューアルされた活気あるイベントとなりました。AES日本学生支部とはこれまで以上に密に連携し、若手のサポート、育成、会員同士の交流促進などを推めて参りたいと思います。

末筆になりましたが、本年もAES日本支部の活動にご理解とご支援頂けます様よろしくお願い申し上げます。

2020年度 AES日本支部 運営委員体制

	2020年度（2020年9月～2021年8月）	
	2年	1年
支部長	中澤 哲矢	
副支部長		星 和麿
監事	内村 和嗣 鈴木 弘明	亀川 徹
運営担当	岡田 詞朗	高橋 宏幸 菅野 重信
例会担当	西村 明 長渡 政文	長江 和哉 岸 智也 佐藤 えり沙
会員担当	渡邊 裕子	中川原 修 山田 美慧
会計担当	中原 雅考	小谷野 進司
広報担当	三村 将之 土倉 律子	染谷 和孝 小野 一穂
教育担当	山崎 淳 尾本 章	丸井 淳史 河原 一彦
渉外担当		由雄 淳一
事務局		見上 陽一郎

2020年度 事業計画

1. 会議

- ・ 定期総会、運営委員会等
- ・ 2022年（予定）国際ゲームコンファレンス開催（東京）に向けたローカル会議

2. 事業

- ・ AES 基礎音響セミナーの開催
- ・ AES ジャパンフォーラム開催

3. 支部体制の充実と効率化

- ・ 支部会員向けのサービスの拡充（ホームページ充実など）
- ・ 賛助企業向けサービスの拡充（フォーラムやイベント等との連携）
- ・ 新会員の獲得とアソシエイト会員からフルメンバー会員への移行促進

4. 会員情報の管理と会員への連絡

- ・ 本部会員データベースの活用を推進しセキュアな連絡体制の構築
- ・ WEBを活用した会員更新手続きの利便性の向上を図る

5. 例会

- ・ 見学会・講演会を主体として、計10回程度開催予定
- ・ 外部イベントとの連携も視野に入れ幅広い内容を図る
- ・ 地方開催の推進

6. 懇親会

- ・ 2回（2020年12月、2021年8月）

いずれもポストコロナを鑑みて、開催方法や内容を運営委員会で精査し実施する予定。

基礎音響セミナー2020のご報告

AES日本支部 教育担当 河原 一彦 (九州大学)

初回開催以来、毎回ご好評頂いておりました「AES基礎音響セミナー」も今回で11回目を迎えることができました。今回は、コロナ禍ということで、開催自体の是非が議論されましたが、オンラインでの開催の方針が決定され、運営委員一同、初のオンライン実施に挑戦いたしました。

オンラインでの実施ということで、例年恒例の「マスタークラス」が開催できませんでしたが、2020年9月19日(土)から9月22日(火)にわたって、Zoomによるウェビナーをもちいて開催しました。それぞれの分野を専門とし、第一線で活躍しているプロフェッショナルを講師としてお迎えし、基礎物理音響学、電気音響、デバイスの在り方、室内音響学、実用的なデジタル信号処理など、オーディオに関わる幅広い内容の講義がおこなわれました。

運営の都合上、今回は受講対象者をAES会員に限定いたしました。受講者のみなさまのご協力もあり、特に大きな問題はなく、セミナーを実施することができました。また、セミナーの一部は、9月末までオンデマンド視聴できるような試みも実施いたしました。

< AES基礎音響セミナー2020開催概要 >

【初級講座】

- | | |
|-----------------|---------------------|
| A1. 音の基礎 | 星和磨 (日本大学) |
| A2. 聴覚と音知覚の基礎 | 西村明 (東京情報大学) |
| A3. デジタル信号処理の基礎 | 渡邊祐子 (東京電機大学) |
| A4. 電気音響の基礎 | 田村良隆 (スタジオイクイップメント) |

【中級講座】

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| B1. 室内音響入門 | 中原雅考 (ソナ/オンフューチャー) |
| B2. 音の心理評価入門 | 丸井淳史 (東京藝術大学) |
| B3. 実用デジタルオーディオプロセッシング | 鈴木久晴 (エヴィクサー) |
| B4. スピーカ入門 | 小谷野進司 (KOYANO Sound Lab.) |
| B5. マイクロホン入門 | 小野一穂 (NHKエンジニアリングシステム) |

【特別講座】

- | | |
|-----------|---------------|
| C. 技術英語入門 | 鈴木弘明 (MQA/ソナ) |
|-----------|---------------|

例会の活動について

AES日本支部 例会担当 長渡 政文 (NHKテクノロジーズ)

例会は支部活動の一部門として、音響に関する最新技術をテーマにした講演や設備見学会実施など会員の皆様にオーディオに関する有益な情報をお届けすることを目的して活動しております。毎回多くの皆様にご参加頂き心より御礼申し上げます。

2020年はコロナウイルス感染症が拡大するなか、例会もその影響を受ける形となりました。コロナ禍における例会実施に向けては感染予防への十分な対策が必須であることから一堂に会する形での実施は控え、9月例会「オーディオ技術動向」からはZoomを使用したウェビナー形式による体制で例会実施を継続しています。

ウェビナー形式の実施では「会場による人数制限の制約が少なくできる」「地方にお住いの方が参加しやすい」など会員の皆様をはじめ多くの方々がより一層参加しやすい環境を構築することができることは大きなメリットであると考えています。また、参加された皆様にお答え頂いたアンケートには貴重なご意見を多数頂いており、今後の活動の参考とさせていただきます。

今後もオーディオ技術・業界の発展に向けて皆様に有益な情報をお届けできるよう活動していく所存です。引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

<2020年度実施報告>

・9月例会

開催日： 2020年9月15日（火）
テーマ： オーディオ国際規格化についての技術動向
講演者： 音響芸術専門学校 由雄 淳一 氏
参加者数： 54名

・11月例会

開催日： 2020年11月6日（金）
テーマ： 高品位インターネット動画配信システム「Live Extreme」について
講演者： 株式会社コルグ 大石 耕史 氏
参加者数： 42名

・12月例会

開催日： 2020年12月18日（金）
テーマ： 10年後のゲームオーディオを考える Vol.3
講演者： 株式会社バンダイナムコスタジオ 中西 哲一 氏
株式会社スクウェア・エニックス 矢島 友宏 氏
株式会社カプコン 小島 健二 氏
株式会社カプコン 岸 智也 氏

参加者数： 57名

日本学生支部 支部長挨拶

AES日本学生支部 支部長 森永 実季（東京藝術大学）

大寒の候、皆さまお健やかに過ごしてはいかがでしょうか。

AES日本学生支部長を務めております、森永と申します。AES日本支部の皆さまには、日ごろからご支援ご協力を賜り、この場を借りて心よりお礼申し上げます。またこの度は、AES日本支部だよりにて、AES日本学生支部活動報告の機会をいただき誠にありがとうございます。



昨年は新型コロナウイルス感染症の流行下で、何事も試行錯誤の1年でありました。そんな中AES日本支部の皆さまのご協力のもと、「若手・学生のためのAESジャパンフォーラム2020」をはじめ、様々なイベントをオンラインにて開催できたこと、大変嬉しく思っております。オンライン開催ということもあり、例年にも増して日本各地の学生や、大人の皆さまにイベントに参加していただき、有意義な意見交換の場となりました。本年もますます、AES日本学生支部の中での繋がり、そしてAES日本支部の皆さまとの繋がりが広がっていくことを願っております。

どうぞ本年もAES日本学生支部の活動へのご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。寒さや乾燥の厳しい日々が続きますが、皆さまくれぐれもご自愛ください。

AES日本学生支部公式ホームページ

<https://japan.aes-student.org/wordpress/>

日本学生支部の活動について

AES日本学生支部 広報担当 竹内 朗（東京藝術大学）

本年度は「若手・学生のためのジャパンフォーラム」を学生主体で行なった記念すべき年です。これによって、本年度の支部だよりは、日本支部の方々の助力をいただきながら、僭越ながら学生支部との共同発行という形を取らせていただきました。

本年度の学生支部の主な活動といたしましては、6月のVirtual Viennaへの参加、8月のオンラインでの活動報告会、そして若手・学生のためのジャパンフォーラムの3つになります。

1) 6月：Virtual Vienna参加報告

今年のConventionはオンラインでの開催で、特設のサイト上で発表やコンペが行われ、遠く日本にいながら世界中の人々の発表や議論を聞くことができました。学生支部としては、ここに各々で参加した後、報告や議論を通してレポートにまとめる、という形で参加させていただきました。4日間という短い時間の中で多数のイベントが同時に開催されていたのでとても一人で全てに参加することはできませんでしたが、後々に参加したメンバーそれぞれの視点から聞く報告はとても興味深いものでした。

また、Opening Ceremonyでは学生支部の支部長が素敵な着物姿で動画に登場してくれています！

2) 8月：活動報告会

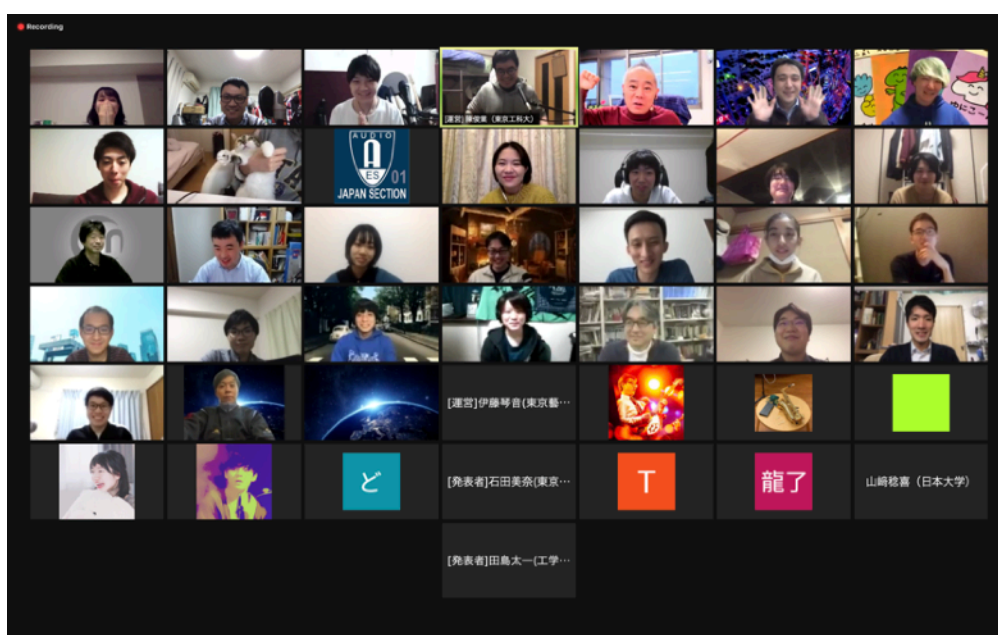
オンラインにてVirtual Viennaの参加報告と、日本学生支部の活動についての紹介を行いました。今までは主に東京での開催でしたが、オンライン開催にしたことによって遠方から参加してくださる方もいっしょり、より広く我々の活動を紹介することができました。新メンバーを迎え、今年度の学生支部の運営は11人体制となりました。

3) 11月：若手・学生のためのAESジャパンフォーラム

例年会場を借りて行っていたイベントですが、本年度は前述の二つと同じくオンラインで行うこととなりました。初めての取り組みにも関わらず、発表者13人、参加者は100人を超える申し込みをいただき、大変な賑わいのうちに終了することができました。企画立案から特設サイトの運営、申し込み管理などは学生支部主体で行いましたが、日本支部の皆様にもお忙しい中何度も相談に乗っていただき、無事開催することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

・研究成果発表

発表形式は、ポスター・動画の2種類を募集し、それぞれDropbox、YouTubeにてイベント当日の4日前から翌日までアーカイブとして限定公開、参加者にコメントなどを書き込んでもらい、当日はZoomのブレイクアウトルーム機能を用いて60分の質疑応答を行う、という形で行いました。昨年に引き続き参加は無料としましたが、経費の支出がほぼないことや集金が難しいということも踏まえて発表の申し込みも無料といたしました。発表者13件の内訳は、例年の東京芸術大学7件、日本大学2件、の他に、名古屋芸術大学2件、東京工科大学・九州工科大学が1件と、遠方からの参加も複数あり、オンラインならではのなっています。



写真：ジャパンフォーラムでの記念撮影

・特別企画

今回は「～日本で音を学ぶ若手・学生のコロナ禍における研究や制作～」と題し、あらかじめ募集したアンケートを読み上げるラジオ番組形式で特別企画を行いました。オンライン授業でのもどかしさなどが語られる一方で、先生方の授業準備の裏事情や苦労が赤裸々に語られたり、オンラインであることを逆に利用した授業の楽しみ方が提案されたりなど、終始笑いの絶えない企画となりました。また、閉会後には、懇親会の代わりにフリータイムを設け、気軽に相談や近況報告ができるようにしました。

オンラインでの開催は不安な面や力が及ばなかった部分も多々ありますが、学生や若手研究者の交流の場を作る、という目的は十分に果たせたと思います。運営にご尽力いただいた、星先生をはじめとする日本支部の方々に感謝の意を表すとともに、また来年度もご協力をいただけますよう、お願い申し上げたいと思います。

編集後記

AES日本支部便り 2020年 冬号をお読みいただき、ありがとうございます。

喜ばしいことに、本誌はAES日本学生支部との共同発行という形をとることができました。執筆者のみなさまをはじめ、ご協力くださった方々に感謝申し上げます。編集にあたり表紙のレイアウトを変更し目次機能をつけてみましたが、いかがでしたでしょうか。

2020年は大きな変化の波を乗り越える年であったとともに、社会が飛躍的な成長を遂げた1年だったのではないかと思います。昨年の今ごろはビデオミーティングがこんなに手軽に普及するなんて思ってもみませんでした。世界との繋がりやすさ、オンデマンド配信の有難さ、オンラインだからこそその魅力を楽しむ一方で、やはり実際の場に赴き、人と会い、音を聴く楽しみが待ち遠しくもありますよね。

オンラインもオフラインも、柔軟に、自在に選択できる日を心待ちにしています。

AES日本支部 広報担当 土倉 律子（株式会社 ソナ）